

**Joie™**

適合基準：ECE R129/03

適応身長：100cm-150cm

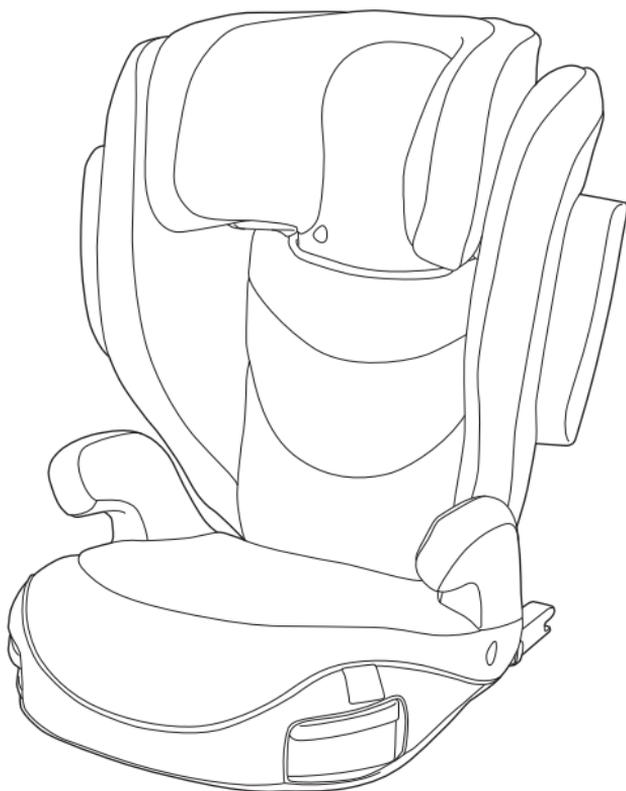
年齢の目安：3.5歳頃から12歳頃まで

ジョイー・ジュニアシート

**i-Trillo™ FX**

アイトリロ FX

**取扱説明書 / 保証書**



ECE R129/03 : i-Size

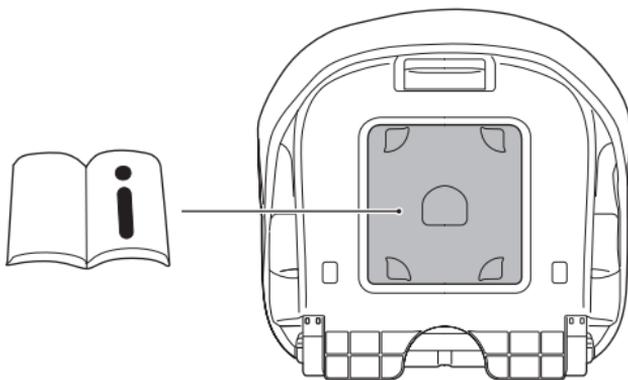
2511\_01

# JP Welcome to Joie™

この度は、ジョイー 製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、自動車の座席で使用するジュニアシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシート（ジュニアシート）製品ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

# はじめにお読みください

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
正しい使用	4
チャイルドシート、ジュニアシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
適合する自動車の座席について	6
本製品の情報	6
緊急時の対応	6
表記の説明	7
内容物の確認	8
各部の名称	9
使用できるお子さまの条件	10
自動車座席に関して	12
使用可能な座席の位置と向き	12
シートベルトの使用	13
使用できない座席	13
使用上の注意事項	15
緊急時の操作	24
組み立て	25
本体の組み立て	25
サイドインパクトプロテクション	28
使いかた	30
ヘッドサポートの調節	30
座席への固定/設置	31
ISOFIXによる固定	32
3点式シートベルトのみで使用する場合の設置	39
お子さまの乗せかた	40
カップホルダー	47
お手入れのしかた	47
ベースのカバーの取り外し	49
バックレストのカバーの取り外し	49
ヘッドサポートのカバーの取り外し	50
カバーのお手入れ	51
その他の部位のお手入れ	53
除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	54
保管のしかた	54
廃棄のしかた	54
保証書	58

## はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合する、ジュニアシートです。身長 100cm ~ 150cm (目安年齢 3.5 歳頃から 12 歳頃) のお子さまに使用することができます。

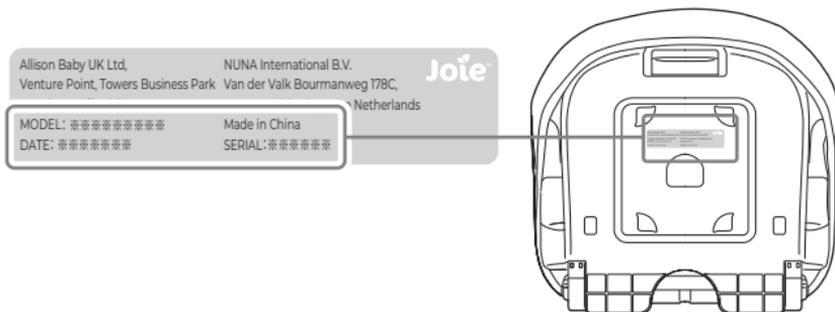
本製品にお子さまを本製品に乗せ、自動車の 3 点式シートベルトを装着して使用します。

### ユーザー登録のお願い

ジュニアシート (ブースター) をご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート、ジュニアシートの基準である、ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、当社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品のベース底面のステッカーに記載されています。



### 正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく使用してください。

## チャイルドシート、ジュニアシートについて

---

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

## 使用に関するアドバイス

---

お子さまのチャイルドシート、ジュニアシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

## 適合する自動車の座席について

---

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の当社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

[katoji.co.jp](http://katoji.co.jp)

## 本製品の情報

---

本製品は、身長 100cm-150cm のお子さまが使用する、i-Size ブースターシート（ジュニアシート）です。

本製品は、最新の ECE 基準の UN 規則 R129/03 によって認証されています。

本製品に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

**製品の区分** : ブースターシート（ジュニアシート）

**原材料** : プラスチック / 金属 / 縫製品

**パテント No.** : 特許出願中

**適応身長** : 身長 100cm-150cm（参考年齢：3.5 歳頃～ 12 歳頃）

**取り付けの向き** : 自動車の進行方向に対して前向きにのみ使用可能

## 緊急時の対応

---

交通事故などの緊急時には、慌てず自動車のバックルを操作して、シートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。衝撃の影響などによってバックルが外れない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してシートベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

### 危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 <b>危険</b>	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 <b>警告</b>	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 <b>注意</b>	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 禁止と警告

表記	表記の内容
	警告や注意を促す事柄を示します。
	禁止事項を示します。

### 強調・禁止の表記について

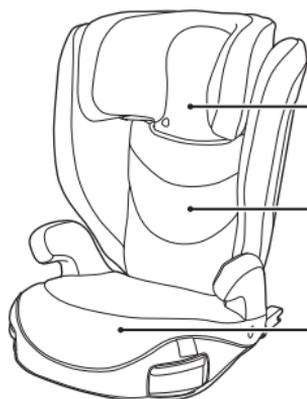
表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

### ポイントの表記について

 <b>ポイント!</b>	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
---	---

## 内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



### ヘッドサポート

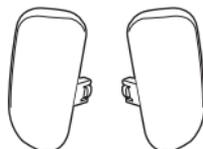
ご使用前に、ヘッドサポートとバックレストの組み立てが必要です。

### バックレスト

### ベース

ご使用前に、ベースとバックレストの組み立てが必要です。

### 本体



### サイドインパクトプロテクション<sup>®</sup>

※P28「サイドインパクトプロテクション」を参照して、バックレストに取り付けてください。

### 本書



### ユーザー登録ハガキ

### ISOFIXガイド



**警告**

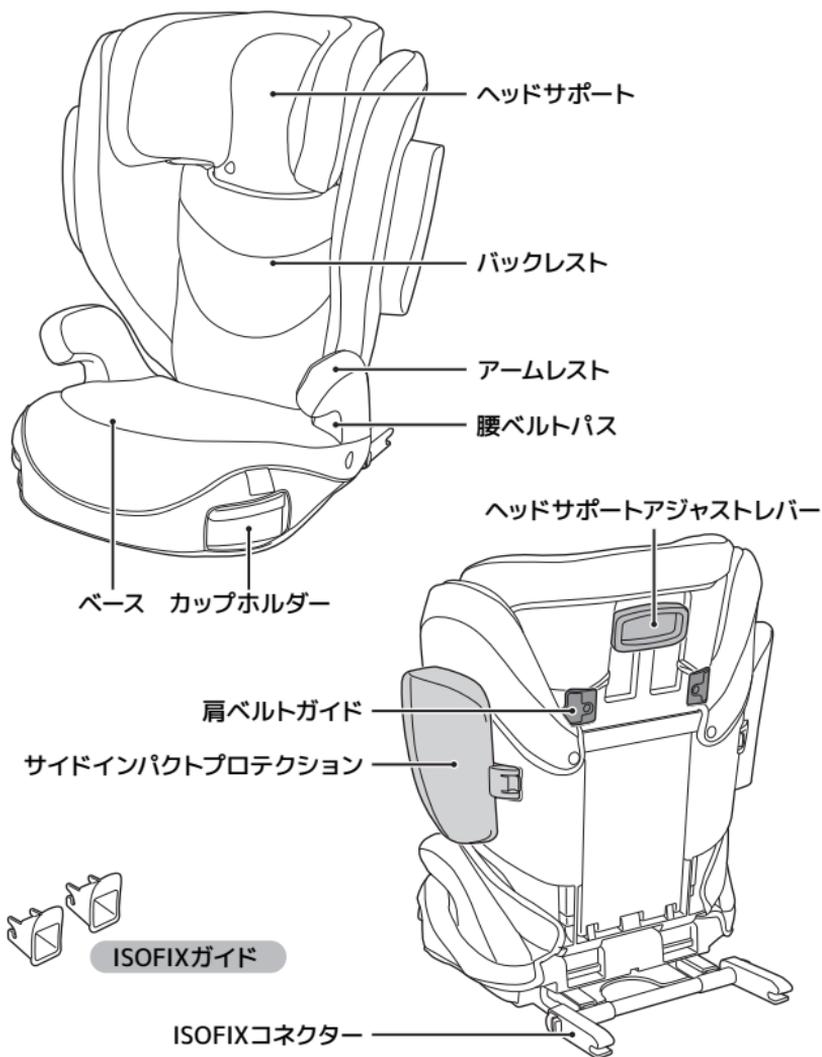
### 窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

# 各部の名称

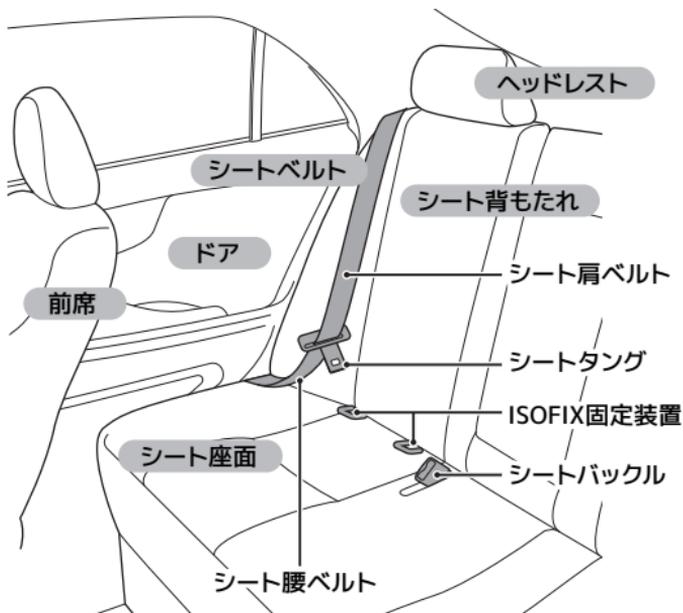
## 本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



## 自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



### 👉ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

## 使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの条件と条件は、本製品の適合するECE R129/03 基準によって定められています。

本製品は、ジュニアシート（i-Size ブースター）であり、身長 100cm から 150cm のお子さまにご使用いただけます。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

**⚠危険**

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

本製品の適合する ECE R129/03 基準は、使用可能な期間をお子さまの身長によって規定しています。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、身長が使用できる条件に満たない、またはこれを超える場合には、本製品を使用してはいけません。

身長	使用方法	
<p><b>100cmから150cmまで</b> (およそ3.5歳～12歳頃まで)</p>		<p>ベースとバックレストを組み立てて使用します。本製品のヘッドサポートでシートベルトの位置(高さ)を調節します。</p>

**⚠危険**

ベースとヘッドサポート、バックレストを分離して使用しないこと

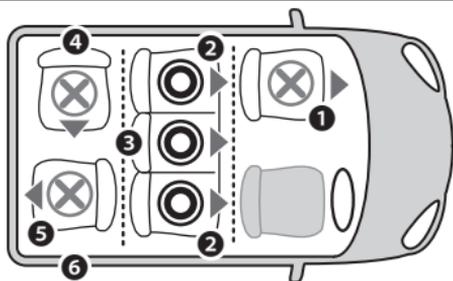
本製品は、ベースにヘッドサポートとバックレストを組み立てた状態でのみ使用することができます。ベースのみ、ヘッドサポートのみ、バックレストのみの状態で使用してはいけません。

ベース単体のみの状態にして、背もたれなしのブースターシートとしては絶対に使用しないでください。



## 自動車の座席に関して

### 使用可能な座席の位置と向き



- ① 助手席 ..... × 使用不可※<sup>1</sup>
- ② 2 列目左右ドア側席 ..... ○ 使用可能
- ③ 2 列目中央席 ..... ○ 使用可能※<sup>2</sup>
- ④ 進行方向に向かって横向きの座席 ..... × 使用不可
- ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 ..... × 使用不可
- ⑥ 3 列目以降の左右中央座席 ..... ○ 使用可能※<sup>3</sup>

※<sup>1</sup>：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします

※<sup>2</sup>：当社適合車種一覧においては適合調査をいたしておりません。3点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。

※<sup>3</sup>：当社適合車種一覧において、中央座席に関しては適合調査をいたしておりません。3点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。

自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では、原則として使用が可能※ですが、諸条件により使用を推奨しない場合があり、また i-Size 対応でない座席でも使用することがあります。本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ

[katoji.co.jp](http://katoji.co.jp)

## ⚠危険

### 使用の可否の条件を守ること

上記のシート（座席）すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

## シートベルトの使用

本製品では、使用するモードに関わらず自動車の3点式シートベルトを使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。また、年式の古い車両においては、3点式シートベルトでも、シートベルトの仕様により本製品を使用できない可能性があります。本製品は、ALR（ELRに切り替え不可のタイプ）方式およびNR方式のシートベルトには対応していません。

## 使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべてのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を取り付け、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

## ⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 3点式シートベルト以外の座席

本製品は、3点式シートベルトが装備された座席でのみ使用可能です。シートベルト未装備の座席はもちろん、2点式、4点式、5点式シートベルトが装備された座席では絶対に使用しないでください。



## ⚠危険

以下に示すシート(座席)では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 助手席

当社では助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席で使用してください。

### 適合車種一覧で使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、使用不可となっている車種または特定の座席(車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません)では使用できません。

### 安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を使用するとドアやコンソールなどの構造物に接触する座席、座席の可動操作に本製品が干渉する座席では、本製品が安定しないため使用しないでください。適合車種であっても、限定モデルや中古車などの場合、特殊な座席が装備されていたり、座席そのものが交換されていることがあります。このような場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できない可能性がありますのでご注意ください。



### 乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側や2ドアの自動車など、本製品を使用することで他の乗員が緊急時に脱出しにくくなる座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に、緊急時を想定して、本製品を置いた状態で他の乗員が容易に乗降できるか、またお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



### パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用することができません。

### 本製品の取り付け、固定操作中に移動する座席

本製品の取り付け、固定操作中に移動したり、背もたれや座面の状態が変化する座席には取り付けしないでください。

### 本製品の角度が異常になる座席

座面が極端に傾斜しているなど、使用時に本製品の角度が異常になる座席では使用しないでください。

## ⚠危険

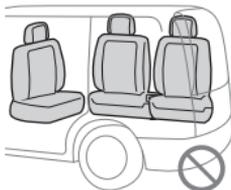
以下に示すシート(座席)では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 可動式の座席やドアが本製品に干渉する座席

ドアの開閉時や座席を移動させた際、ドアや座席が本製品(樹脂部品など)に干渉する座席で使用すると、本製品の破損や、自動車の操作への影響、本製品の正しい使用状態の維持に影響をおよぼすおそれがあります。

### 進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用してください。後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に対して前向きの座席であっても、補助席などの特殊な座席や、バス、電車、飛行機、船など、自動車以外の乗り物の座席では使用しないでください。



### 本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

運転の安全を確保するため、本製品の使用により、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキ、シフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席でご使用ください。



### 本製品が対応しない ISOFIX 固定装置には固定しないでください

本製品は汎用の ISOFIX 固定装置に固定して使用することができますが、ISOFIX 固定装置の仕様(使用可能なチャイルドシートが自動車メーカーにより指定されている場合や米国規格の ISOFIX 固定装置など)によっては適切に固定できないリスクがあるため、自動車の取扱説明書を確認するか、自動車メーカーにお問い合わせください。なお、本製品は ISOFIX 固定によらず、3点式シートベルトのみでも使用できます。



## 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 本取扱説明書および本体の表記に従って正しく使用すること

本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での自動車の座席への固定、使用はしないでください。正しく固定、使用しないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 本製品の固定、設置、使用場所に注意すること

固定、設置、使用する場所によっては、可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で固定、設置、使用してください。

### 使用条件を厳守すること

本製品は、適合基準に基づき、お子さまの使用条件が定められています。この条件を守り、本書の指示に従って正しく使用しなければ、事故の際に所定の安全性能が発揮できず、重大な危険につながるおそれがあります。

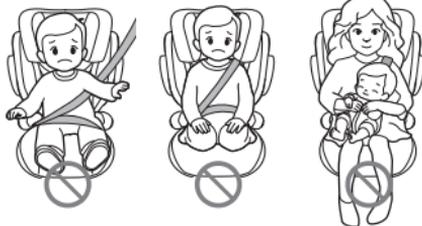


### 本製品は本書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまだけでなく、同乗者にも危険がおよぶおそれがあります。使用方法を理解していても、お子さまには絶対に操作をさせないでください。また、ご家族や知人など第三者が本製品を使用する場合にも、必ず本書を参照させ、正しく安全に使用できる状態にしておいてください。

### お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。誤った方法でシートベルトを使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



### 指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用、ブースターシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッション、ベルトなどを本製品に追加して使用しないでください。

## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

**本製品にいかなる改造も追加も行わないでください**

型式認証機関の承認なしに、本製品に改造、追加を行わないでください。また、本製品に取り付けられている白色の EPP/EPS フォーム（発泡スチロール等の衝撃吸収材）を絶対に取り外さないでください。これらに従わない場合、重大な安全上の問題が発生する恐れがあります。

**指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと**

本製品は3点式シートベルトを使用します。本製品やお子さまの固定のために、ひも、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。2点式、4点式、5点式のシートベルトも使用することができません。

また、正しく固定した上にこれらのもので補強してもいけません。これらのものが本製品の状態に影響をおよぼしたり、お子さまの首や身体に引っかかる可能性があります。



**シートベルト（シートバックル・シートタンク）に損傷がある場合は使用しないこと**

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。



**指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと**  
本製品は進行方向に対して前向きの座席に、前向きにして使用します。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きにしてシートに取り付けてはいけません。

**体型が合わない場合は使用しないこと**

本製品の認証基準では、お子さまの身長によって使用の可否が定められています。「使用できるお子さまの条件」に記載された目安の年齢(月齢)の範囲内でも、身長の規定に満たない、または超えた場合は本製品の使用を中止してください。また規定内でも、お子さまの成長に伴う体格の変化によって、適切に本製品を使用できなくなった場合(3点式シートベルトが適切に使用できないなど)も、本製品の使用を中止してください。



## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、たとえ数分でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



### 正しくシートベルトを装着すること

シートベルトにねじれがあると本製品が安全に機能しません。本製品とシートベルトを正しく調節して、シートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付けて、確実にバックルを留めて正しく使用してください。

### シートベルトは、ゆるみのないようにすること

シートベルトにゆるみがないようにして本製品をご使用ください。

### シート腰ベルト（シートベルトの腰ベルト）はお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際にお子さまにかかる衝撃を骨盤でしっかりと受け止めるため、シート腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折の危険性が高まります。



骨盤の上を通す

### ベースとヘッドサポート、バックレストを分離して使用しないこと

本製品は、ベースにヘッドサポートとバックレストを組み立てた状態でのみ使用することができます。ベースのみ、ヘッドサポートのみ、バックレストのみの状態で使用してはいけません。ベース単体のみの状態にして、背もたれなしのブースターシートとしては絶対に使用しないでください。



### 分解、修理の禁止

本取扱説明書で指示された部位や部品を除き、本製品から部品を取り外したり、分解したりしないでください。安全機能が損なわれるため、お客様ご自身での分解や修理は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、クッション材も安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

### 部品を取り外した状態で使用しないこと

#### 本製品に破損や異常がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないこと

お子さまが落下したり本製品が破損、落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

#### 短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

### 常に正しい状態にして適切に使用すること

本製品を適切に使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を設置する自動車の取扱説明書の内容を理解し、その指示に従ってのみ適切に使用することができます。本製品の使用中は、常に正しい状態になるよう適宜確認してください。

### 指定された固定箇所のみを使用してください

本書に記載されていない、または本製品本体にマーク（印）のない場所で、シートベルトや固定金具を引っ掛けたり、チャイルドシートの重さや力を支えさせたりすると大変危険です。お子さまの安全のため、指定された使用方法、固定方法を厳守してください。

## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること  
交通事故、落下、挟み込みなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、絶対に使用しないでください。外見上問題がなくても、目に見えない損傷や部品の欠損により、本製品が安全機能を果たせなくなっている可能性があります。また、部品が不足または紛失している場合も使用を中止してください。この場合、保証・修理の対象外となり、安全性が担保できないため新しい製品をご購入いただく必要があります。



### 走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員が本製品に触れたり、座席を操作したりするなどして本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には、必ず本製品が適切な状態にあるかどうかを確認してください。本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと  
本製品を自動車の座席に固定せず使用すると、通常走行時や交通事故、急制動の際に本製品が移動し、運転操作を妨げたり、他の同乗者に接触する可能性があります。自動車に本製品を乗せる際には、シートベルトで自動車の座席に固定するか車外に出すなどして、自動車の運転中に本製品が車室内で移動しないようにしておいてください。



### 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品は、正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じ、取り付け痕が残る可能性があります。本製品を安全に機能させるために生じるものですので、あらかじめご了承ください。



本製品を設置した後に、自動車の座席のリクライニング操作または座席の前後の移動、調整をした場合には、本製品の状態を確認すること

設置、固定状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、必ず本製品の状態を確認して正しい状態になるようにしてください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

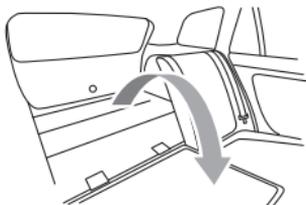
### 走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



### 可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



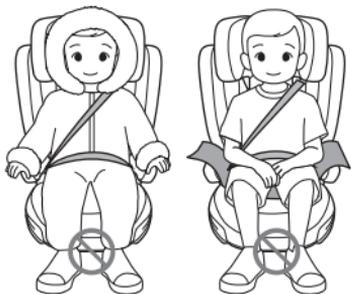
### シートバックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがシートバックル（シートベルトのバックル）に触れると、シートバックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、シートバックルに手を触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



### 不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（シートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にシートベルトを装着できるように、本製品を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



### 本書は本製品底面の取扱説明書ホルダーに入れておくこと

いつでも取り扱い方法を確認できるように、本書は常に本製品底面にある取扱説明書ホルダーに入れて保管しておいてください。

## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品に、重いものを載せたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強く挟むと、損傷し安全性能が低下する可能性があります。本製品が強い衝撃を受けたり損傷があった場合は、使用を控えてください。



### 中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、その過去の使用履歴や保管環境、使用状況が十分に把握できない場合が多く、視認できない損傷や経年劣化が存在する可能性があります。劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



### 目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するジュニアシート（ブースターシート）としてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーカーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



### 不適切な方法で保管しないこと

部品の劣化や故障を防ぐため、屋外や直射日光、高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。また、このような状態で長期間保管した場合、劣化のおそれがありますので使用しないでください。

### いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても、絶対に本製品やシートベルトバックルに注油してはいけません。



## ⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷を負ったり、本製品またはその他の物品に損傷をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 車内の物品は固定しておくこと

急ブレーキ時などに、車内で動く可能性のある物品（荷物など）が、お子さまや他の同乗者に当たって怪我を負わせるおそれがあります。車内の物品は、走行前に必ず適切に固定してください。



### トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は、上に他の物を載せないようにしてください。



### 適切な方法でお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本書の指示に従い正しくお手入れしてください。

### 部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないかを確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



### 生地部分や一部分のみを持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に生地部分や本製品の一部分だけを持って持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。持ち上げる際には、ベース部、バックレスト部に手を添えて本製品を支えるようにしてください。



### ISOFIX コネクターの収納について

本製品を ISOFIX で座席に固定する場合を除き、ISOFIX コネクターは必ずベース内に格納しておいてください。格納せずにいると、ISOFIX コネクターが動いて当たり、破損やケガにつながるおそれがあります。

### トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクで保管する場合は、上に他の物を載せないようにしてください。

## ⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷を負ったり、本製品またはその他の物品に損傷をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

### 長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

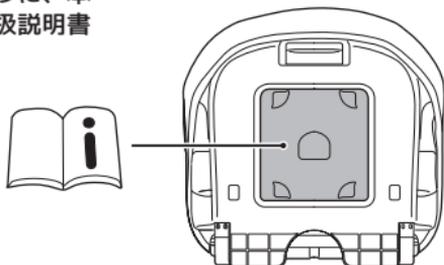
自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。日常的に使用しない場合は自動車内から取り出し、湿気が少なく、直射日光の当たらない環境で保管してください。

### 疑問点がある場合は、販売店、メーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

本書は取扱説明書ホルダーに収納して常時携帯すること

必要なときにいつでも参照できるように、本書は本製品のベース部底面にある取扱説明書ホルダーに収納しておいてください。



取扱説明書ホルダー

## 重要

## 緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、座席のシートバックルを外して、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。お子さまの脱出の際に自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

その上で直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

シートバックルが機能しない場合は市販のシートベルトカッターなどを使用してシートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させてください。

## 組み立て

本製品は、ご使用になる前に組み立てが必要です。工具等は必要ありません。

### ⚠危険

必ず組み立ててから使用すること

ヘッドサポート、バックレスト、ベースそれぞれ単体で使用することはできません。  
必ずヘッドサポート、バックレスト、ベースを組み立ててから使用してください。  
それぞれ確実に固定するようにしてください。

### ⚠注意

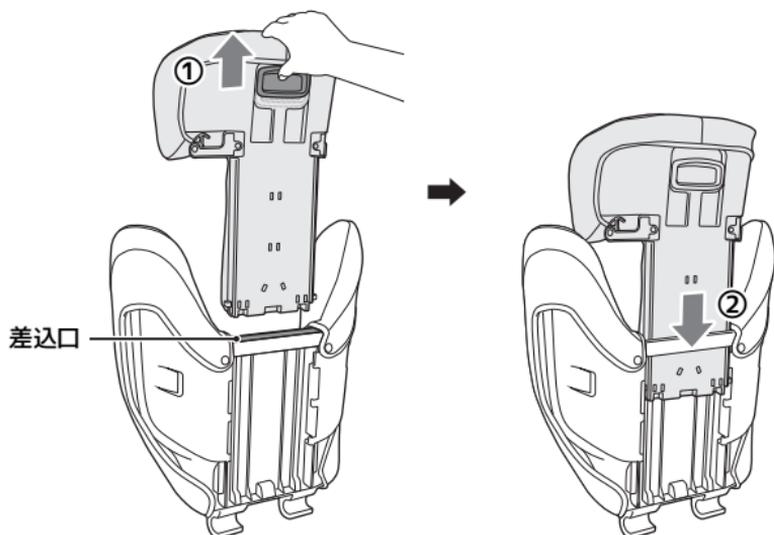
お子さまを近づけないようにしてください

組み立ては安全に注意して、お子さまを近づけないようにして作業してください。

## 本体の組み立て

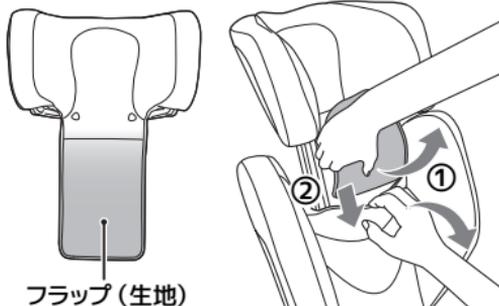
### 01

- ①ヘッドサポート後ろ側の、ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げながら、
- ②バックレストの差込口（隙間）にヘッドサポートの下部を差し込みます。  
この段階では下図の位置程度にとどめ、最後まで差し込まないでください。



## 02

- ①バックレスト上部の生地をめくって開いて、
- ②ヘッドサポートのフラップ（樹脂プレートが入った生地部分）をバックレストの生地の内側に差し込みます。



### ポイント!

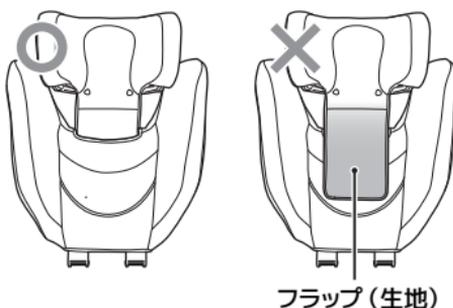
フラップの中には、樹脂のプレートが入っています。強く折り曲げないように注意して操作してください。

ヘッドサポートの位置が低すぎると（差し込み過ぎの状態）、フラップが入れにくくなります。その場合はヘッドサポートアジャスターを操作して、ヘッドサポートの位置を高く調節してください。

参照 P30-31 ▶ヘッドサポートの調節

## 03

図のように、フラップがバックレストの内側になっていることを確認してください。



## 04

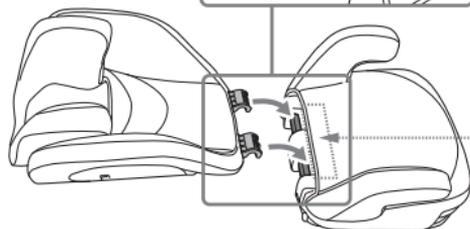
ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げながら、ヘッドサポートを引き上げ、バックレストから外れないことを確認してください。

### ポイント!

ヘッドサポートとバックレストを一度組み立てると、ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げても、簡単には外れないようになっています。

## 05

バックレストとベースを組み立てます。平らで安定した場所で作業してください。バックレスト下端左右のフックを、ベースの固定部にかけます。この際、ベースの生地部分をフックと固定部に挟まないように注意してください。この状態ではまだ固定されていません。



ベースの生地をフックと固定部に挟まないように注意してください。

## 06

- ①フックと固定部を支点にして、
- ②バックレストを最後まで立てます。
- ③「バコッ!」「バコッ!」と音がして、バックレストが最も起きた（立った）状態で固定された事を確認します。



### ⚠️ 注意

バックレストの角度に注意してください  
バックレストは最も起きた（立った）状態で使用します。

## 07

軽くバックレストをゆらして、ベースに確実に固定されていることを確認してください。（強く押すと固定が外れますのでご注意ください）

## ⚠警告

### 椅子として使用しないこと、お子さまを座らせないこと

バックレストは、簡易に固定されているだけです。本製品はバックレストを自動車の座席のシート背もたれにあてて使用します。自動車の座席に正しく設置するまでは、お子さまを座らせてはいけません。お子さまがバックレストにもたれかかると、バックレストが後方に倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 08

お手入れ時など、必要がある場合は逆の手順でバックレストとベースを分割することができますが、使用する場合は必ずバックレストとベースは組み立てておいてください。

## サイドインパクトプロテクション

本製品には事故時などの側面からの衝撃を緩和するため、サイドインパクトプロテクションが装備されています。

サイドインパクトプロテクションは取り外すことができます。ドアの開閉に干渉する場合は取り付けないでください。

## ⚠注意

### ドアに干渉する場合は取り外すこと

サイドインパクトプロテクションがドアと干渉する場合は、本製品およびドアの損傷につながるおそれがありますので、サイドインパクトプロテクションを取り外してください。

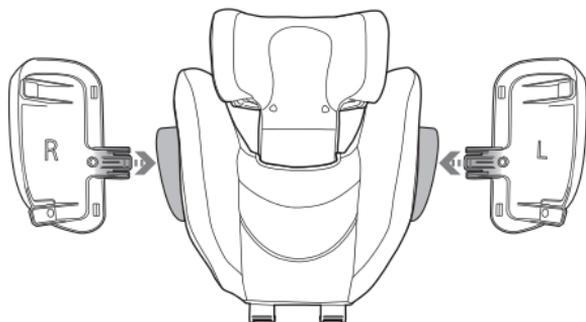
# 取り付けかた

## 01

サイドインパクトプロテクションには左右があり、それぞれに「L」、「R」の刻印があります。

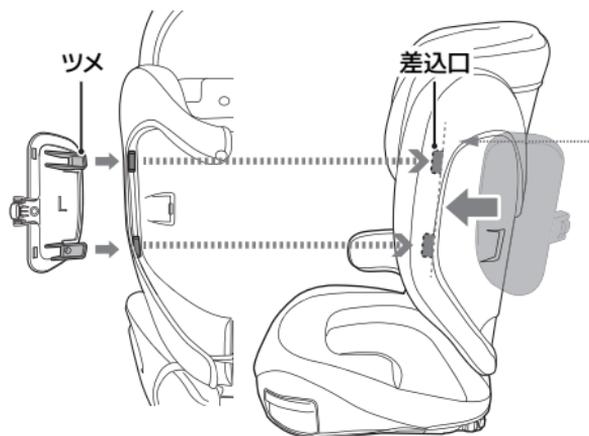
バックレストを後ろから見た場合、左側に「L」の文字がある方を、右側に「R」の文字のある方をそれぞれ取り付けます。

※下図はバックレストを正面から見た状態になりますので、左右が逆になります。



## 02

サイドインパクトプロテクションの左右、上下を確認して、裏側の2カ所のツメを、バックレスト側面の差込口にそれぞれ差し込みます。この際、バックレストの生地部分をツメで刺さないように注意してください。



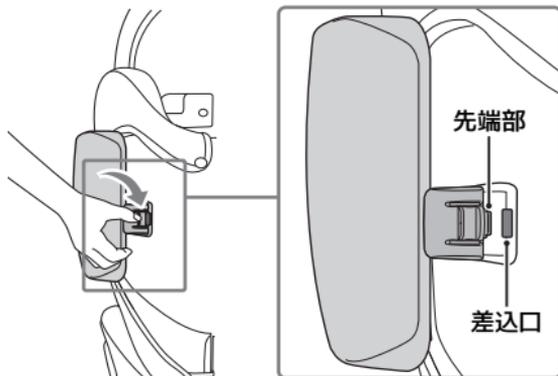
バックレストの生地を、サイドインパクトプロテクション外周の下にたくし込みます。

### 👉ポイント!

バックレストの側面には差込部の位置を示す、▷の刻印があります。

### 03

そのままサイドインパクトプロテクションの先端部を、バックレスト側面の差込口に押し込んで固定します。



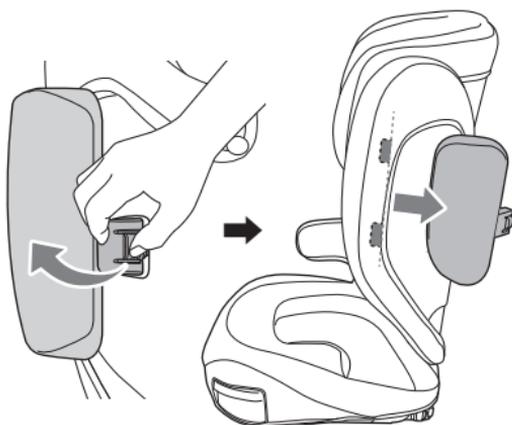
### 04

左右とも同じようにして取り付けます。

## 取り外しかた

### 01

取り付けと逆の手順で取り外します。サイドインパクトプロテクションの先端部を引き上げて取り外してください。左右とも同じようにして取り外します。



#### ポイント!

取り外しは操作が固めですので注意して操作してください。

## 使いかた

### ヘッドサポートの調節

本製品では、ヘッドサポートの高さを調節することができます。ヘッドサポートは肩ベルトガイドと連動しており、ヘッドサポートの高さを調節することによりシートベルト（シート肩ベルト）の高さをお子さまの体格、成長に合わせて適切に調節します。

## ⚠危険

ヘッドサポートの高さを調節して使用すること

ヘッドサポートが適切な高さに調節されていないと、シート肩ベルトが適切な高さにならず本製品が所定の安全性能を発揮することができません。必ず、お子さまの身長に合わせてヘッドサポートを適切な高さに調節してください。

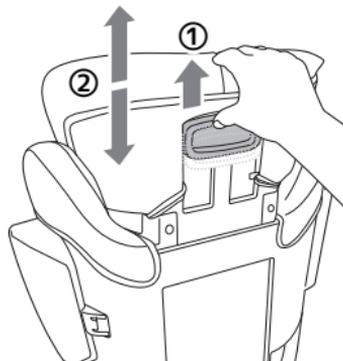
### 01

ヘッドサポートの高さを調整するには、

①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げて、

②ヘッドサポートを上下に動かします。

ヘッドサポートは 10 段階で高さを調節することができます。



## 座席への固定/設置

### 固定方法とシートベルトの使用について

本製品は、以下の 2 つの方法でご使用いただけます。

#### ISOFIX で固定する場合：

ISOFIX コネクターを、座席の ISOFIX 固定装置に固定して使用します。

#### ISOFIX がない座席の場合：

本製品を座席に設置し、3 点式シートベルトで使用することができます。

どちらの方法でご使用の場合も、お子さまには必ず 3 点式シートベルトを装着してください。

なお、どちらの固定方法を選んでも、使用できるお子さまの条件は同じです。

## ⚠注意

バックレストの固定状態に注意すること

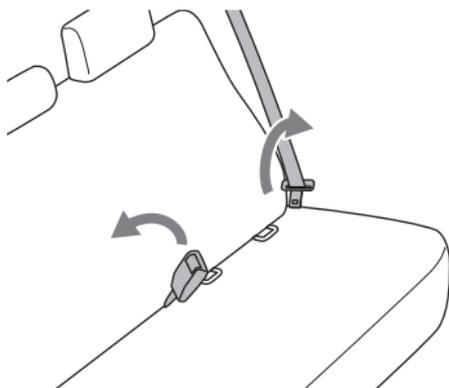
取り付け、取り外し、設置操作中にベース、バックレストのいずれか一方だけを持つと固定が外れるおそれがあります。ベースとバックレストの両方を持つようにしてください。固定が外れてしまった場合は、もう一度ベースとバックレストを固定しなおしてください。

# ISOFIX による固定

## 取り付けかた

### 01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



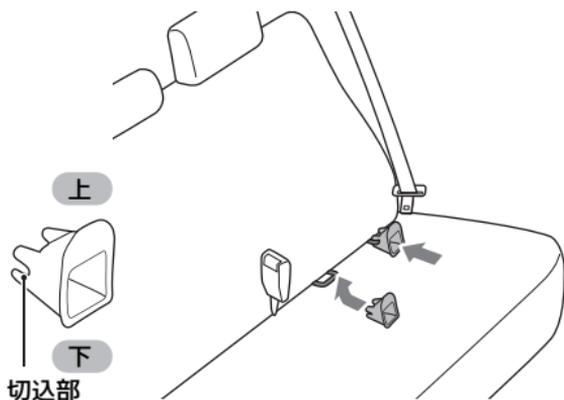
#### 👉ポイント!

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

### 02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。

ISOFIX ガイドにより、ISOFIX コネクターの取り付けがしやすくなります。ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。

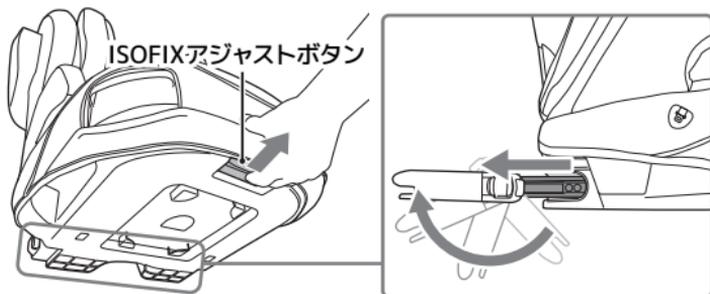


#### 👉ポイント!

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地が傷つく場合があります。あらかじめご了承ください。

### 03

- ①ベース先端下部の ISOFIX アジャストボタンを手前に引きながら、
- ② ISOFIX コネクターを最後まで引き出し、
- ③先端が外側に向くよう 180 度回転させておきます。  
ISOFIX コネクターは左右連動しています。

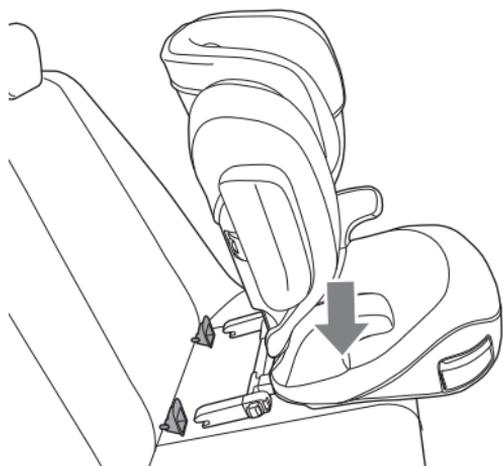


### 04

本製品をシート座面に乗せます。

**ポイント!**

ISOFIX コネクターは外向きの状態で固定されませんので、回転しないように手を添えるなどして乗せてください。



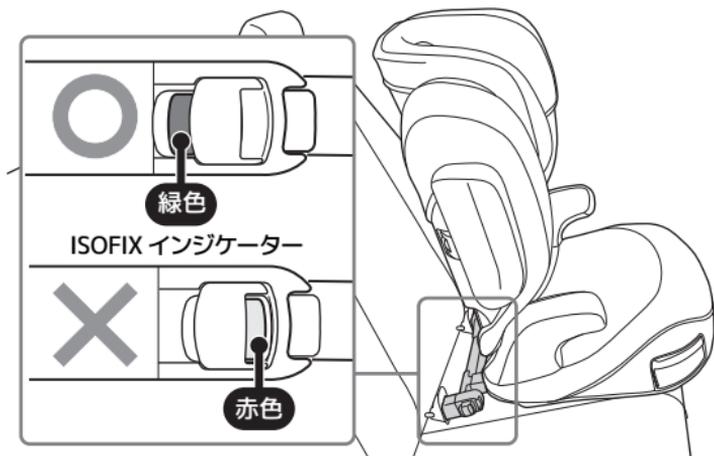
### 05

左右の ISOFIX コネクターをそれぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。カチッと音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。

## 06

左右の ISOFIX コネクターの ISOFIX インジケータが両方とも緑色になっていることを確認します。必ず左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合はもう一度操作をやりなおしてください。



念のため、左右の ISOFIX コネク터를手前に引いても、ISOFIX 固定装置から外れないことを確認してください。

### ⚠危険

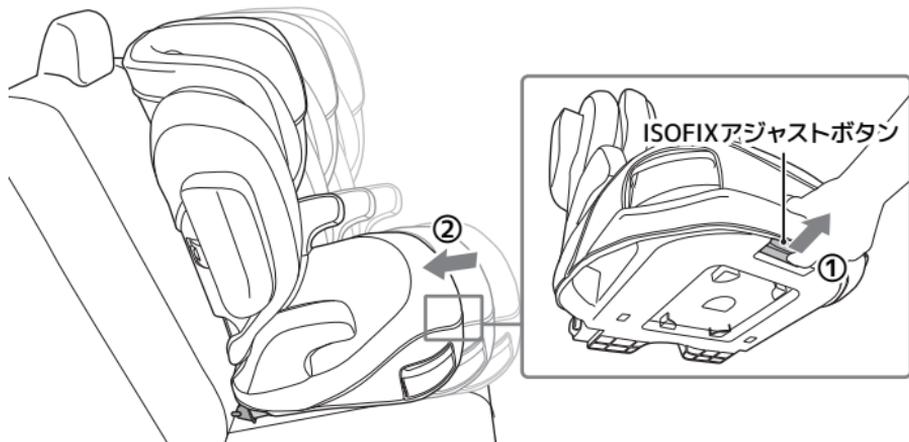
**ISOFIX コネクタは確実に固定すること**

ISOFIX コネクタが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケータのいずれか一方でも緑色になっていない場合は本製品は正しく取り付けられていない状態ですので両方の ISOFIX インジケータが緑色になるよう取り付け直してください。

## 07

- ① ISOFIX アジャストボタンを手前に引きながら、
- ② ベースをシート背もたれ側にしっかりと押し込みます。バックレストは押さないようにしてください。しっかりと密着するまで押し込んだら、ISOFIX アジャストボタンを離します。



### ⚠注意

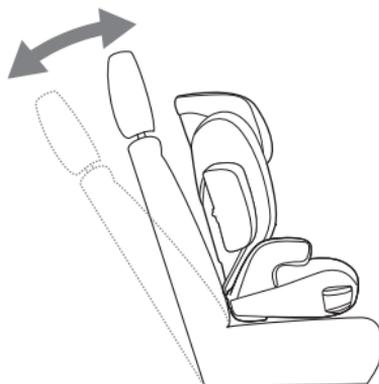
#### バックレストを押さないこと

バックレストを押すと、ベースとの固定が外れる場合があります。固定が外れた場合は、バックレストを立ててベースに固定しなおしてください。

## 08

リクライニングを調節できる座席の場合、バックレストの角度に近い状態にリクライニングを調節してください。リクライニングの調節のしかたは自動車の取扱説明書をご確認ください。

バックレストの角度の調節はできませんのでご注意ください。



## ⚠危険

バックレストとベースを固定すること

バックレストとベースは固定された状態でのみ使用できます。固定されていない状態は使用しないでください。



## 09

ヘッドサポートが座席のヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストの角度を調節するか取り外して干渉しないようにしてください。ヘッドレストを取り外した際は、急ブレーキ時などに動いて乗員に当たらないよう、トランクにしまうなど必ず適切に固定、保管してください。

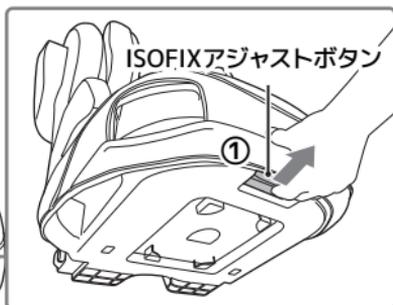
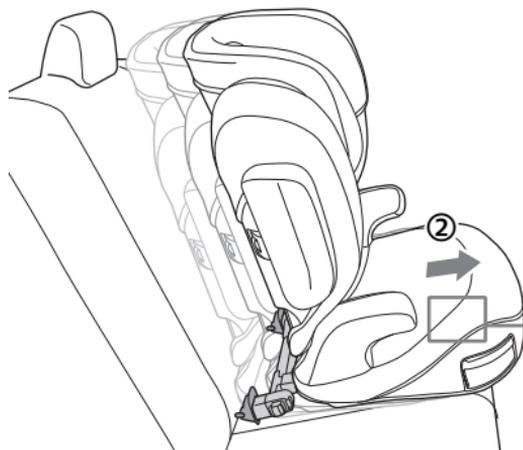
👉ポイント!

お子さまの成長に従い、ヘッドサポートを高く調節するとヘッドレストに干渉するようになることがあります。

## 取り外しかた

### 01

- ① ISOFIX アジャストボタンを手前に引きながら、
- ② ベースを手前に引き出しておきます。



## 02

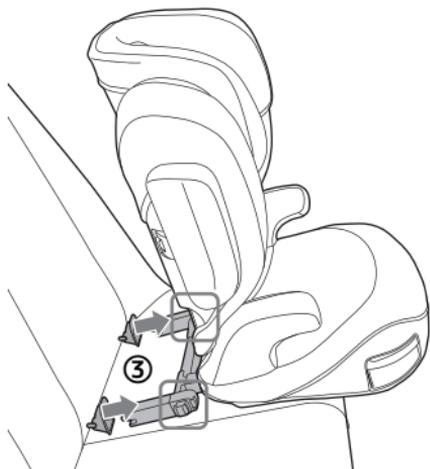
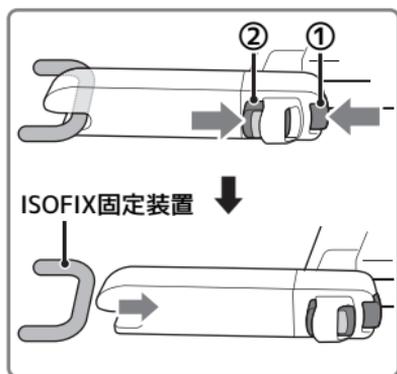
ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から取り外します。左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。

①のリリースボタンを押しながら、

②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除し、ベースを手前に引いて、

③ ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置 (ISOFIX ガイド) から抜きます。



### 👉ポイント!

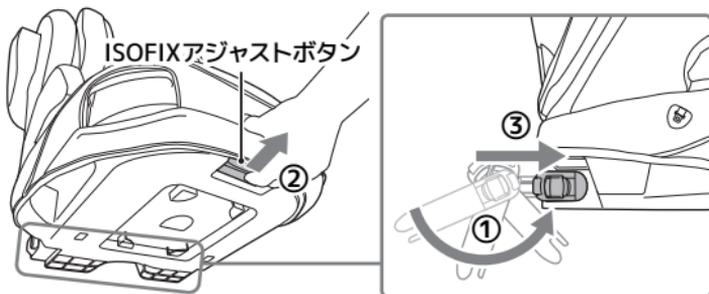
ISOFIX コネクターの取り外しは左右同時に行ないます。両方の ISOFIX コネクターを同時に操作して、本製品を手前に引いて取り外します。片側の ISOFIX コネクターのみが外れてしまうと、本製品の取り外しができなくなります。

### 【ISOFIX コネクターが片側だけ外れてしまった場合の対処法】

ベース部をシート背もたれ側に押し込んで、両方の ISOFIX コネクターを固定しなおしてから、もう一度取り外し操作を行ってください。

### 03

- ① ISOFIX コネクターを内向きに回転させて、
  - ② ベース先端下部の ISOFIX アジャストボタンを手前に引きながら、
  - ③ ベース内に最後まで押し込んで格納します。
- 取り外した本製品は、適切に固定するか車外に出してください。



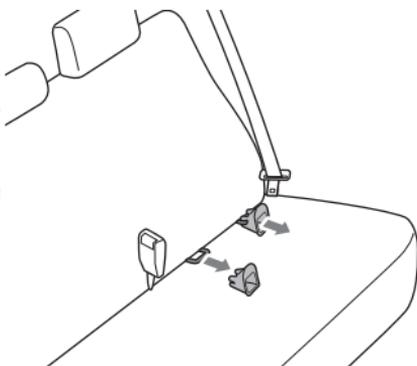
#### ⚠危険

##### ISOFIX コネクターを最後まで押し込んで格納しておくこと

ISOFIX を使用して本製品を固定する時のみ、ISOFIX コネクターを引き出します。それ以外の場合は、ISOFIX コネクターはベース内に最後まで押し込んで格納しておいてください。ISOFIX コネクターが突然引き出されてケガや破損につながるばかりでなく、3 点式シートベルトのみで使用する場合には、ISOFIX コネクターの干渉により本製品が正しく機能しなくなるおそれがあります。

### 04

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドをなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。座席のヘッドレストを取り外した場合は、座席に取り付けなおしてください。



#### ⚠注意

##### ISOFIX ガイドは取り外しておくこと

ISOFIX ガイドの紛失や破損、また乗員のケガの原因になります。ISOFIX ガイドは、必ず座席から取り外した上、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

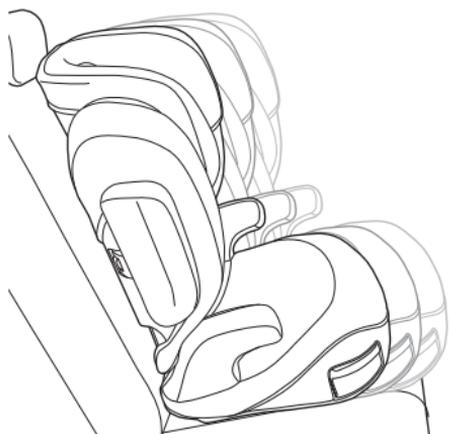
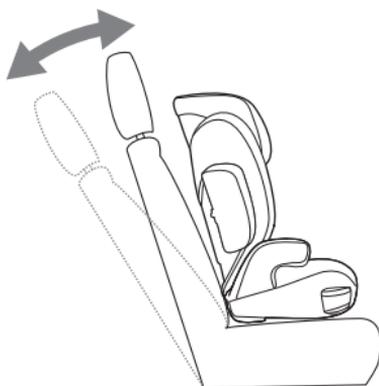
## 3点式シートベルトのみで使用する場合の設置

### 01

ISOFIX コネクターがベースに正しく格納されていることを確認します。

### 02

本製品を座席の中央に置き、シート背もたれ側に押し付けて密着するように設置します。



### 03

リクライニングを調節できる座席の場合、バックレストの角度に合わせてリクライニングを調節してください。リクライニングの調節のしかたは自動車の取扱説明書をご確認ください。バックレストの角度の調節はできませんのでご注意ください。

### ⚠危険

#### バックレストとベースを固定すること

バックレストをしっかりと立てて、ベースに正しく固定された状態のみご使用いただけます。

固定が不完全な状態では、安全性能が発揮できないため、絶対に使用しないでください。



### 04

ヘッドサポートが座席のヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストの角度を調節するか取り外して干渉しないようにしてください。ヘッドレストを取り外した際は、急ブレーキ時などに動いて乗員に当たらないよう、トランクにしまうなど必ず適切に固定、保管してください。

#### 👉ポイント!

お子さまの成長に従い、ヘッドサポートを高く調節するとヘッドレストに干渉するようになることがあります。

## 05

本製品を3点式シートベルトのみで使用する場合、お子さまが乗降した後は、本製品は座席に固定されていない状態になります。

お子さまが乗っていない間は、急ブレーキや事故の際に本製品が車内で移動して他の乗員に当たるおそれがあります。安全のため、使用しないときは、適切な方法で固定するか、車外に出して保管してください。

### お子さまの乗せかた

お子さまを本製品に乗せて、シートベルトを装着します。本製品をISOFIXで固定している場合も、3点式シートベルトのみで使用する場合も乗せかたは同様です。

#### ⚠危険

シートバックルが本製品の使用に適さない場合は使用しないこと

シートバックルが長すぎたり位置が前方すぎる場合、シートベルトが本製品に干渉して適切に装着できなくなるおそれがあります。そのような座席では使用しないでください。

#### 👉ポイント!

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の状態での説明です。他の座席でも基本的な操作方法は同じですが、左右が逆になる場合があります。

## 01

本製品が、正しく設置、固定されていることを確認してください。

参照 P31-40 ▶座席への固定/設置

## 02

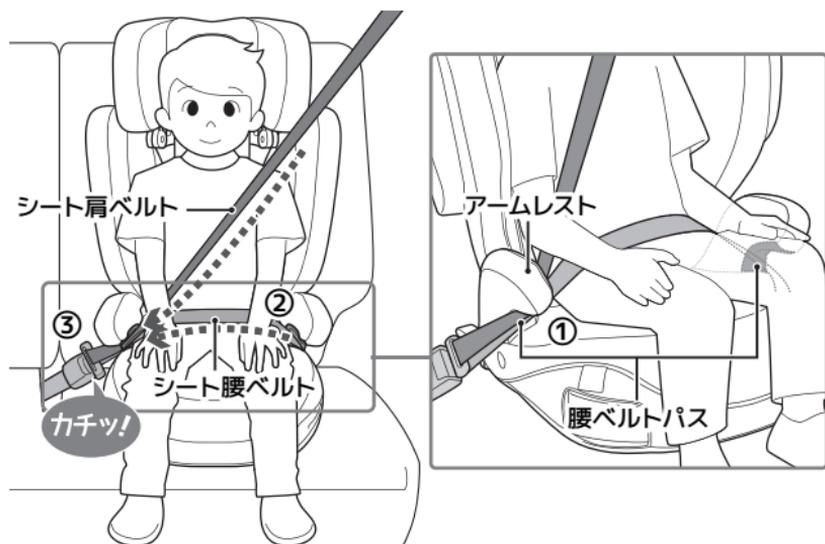
お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。腰を深くして、シートの座面中央に座らせてください。



### 03

シートベルトをねじらないように注意して、

- ①シートバックル側の腰ベルトパス（緑色で指示されています）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、
- ②自動車のドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトを通して、
- ③シートバックルを留めます。カチッと音がしてしっかりと留まっていることを確認してください。



ポイント!

腰ベルトパスは、アームレスト下側の緑色の生地の部分です。

### 危険

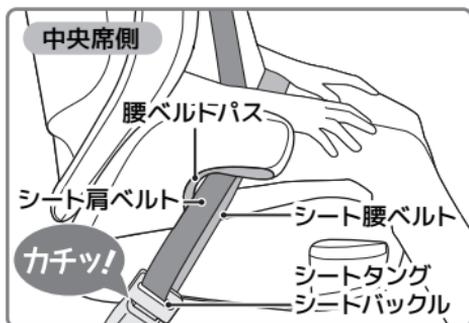
シートベルトは腰ベルトパスを通すこと  
腰ベルトパスは、アームレストの下側です。アームレストの上を通さないでください。



## 04

以下の項目を確認してください。

一つでも不備や間違いがある場合は、そのまま使用せず、正しい状態に修正してから使用してください。

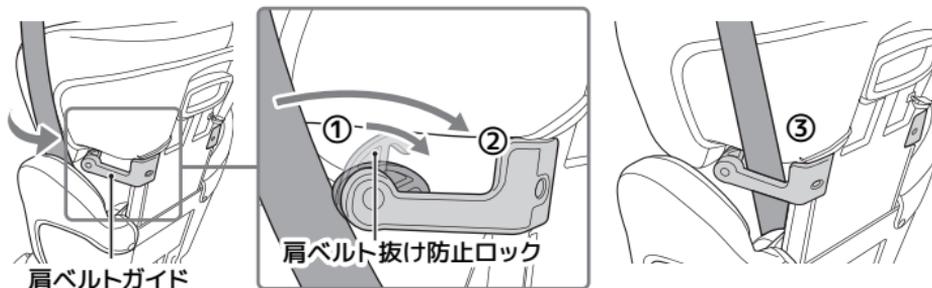


- ・シートベルトにねじれがないこと。
- ・シート肩ベルト、シート腰ベルトが両方も腰ベルトパスを通っていること。
- ・シートバックルにシートタンクが確実に留まっていること。
- ・シートベルトにねじれがないこと。
- ・シート腰ベルトが腰ベルトパスを通っていること。

## 05

シート肩ベルトを、シート肩ベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の肩ベルトガイドに通します。

- ①肩ベルトガイドの肩ベルト抜け防止ロックを倒し（バネで自動的に元に戻ります）シート肩ベルトを差し入れて、
- ②シート肩ベルトをねじらないように注意して通します。
- ③肩ベルト抜け防止ロックが戻って、下図のような状態になっていることを確認してください。

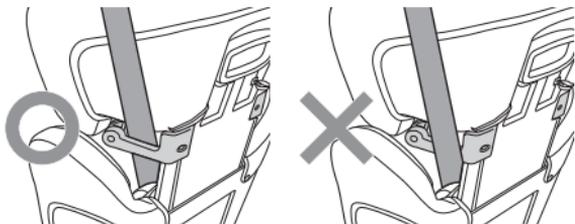


👉ポイント!

わかりやすくするため、図はヘッドサポートを上げた状態で表記しています。

## ⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと  
安全に機能しなくなりますので、シート肩ベルトを、肩ベルトガイドの下側を通したり、肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。



## 06

ヘッドサポートの高さを調節して、シート肩ベルトを適切な高さにします。

ヘッドサポートの下端がお子さまの肩と水平になる高さに調節してください。



参照 P30-31 ▶ヘッドサポートの調節

## ⚠危険

ヘッドサポートの高さを適切に調節すること  
ヘッドサポート（肩ベルトガイド）の位置が高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 07

シート肩ベルトが適正範囲（点線で囲った範囲内）に収まるように調節します。



### ⚠危険

お子さまの位置を正しい状態にすること

お子さまの安全のため、シート肩ベルトは必ず「適正範囲」内を通し、首側（内側）や外側を通して首を圧迫したり、すり抜けたりする危険がないよう確認してください。シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首、腕にかかっている場合は、正しい状態に調節してからご使用ください。



## 08

- ①シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節します。
- ②シート肩ベルトをしっかりと引いて、シートベルトにたるみがないようにします。

### ⚠警告

腰ベルトは骨盤の上を通すこと

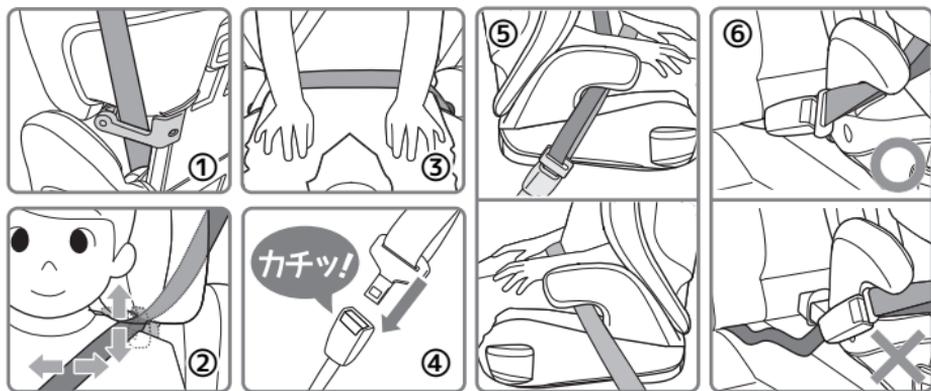
事故や急制動などの際の衝撃を骨盤で受けられるように、シート腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通してください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。



## 09

以下のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。



- ①シート肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ②シート肩ベルトの高さが適切になっていること。シート肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること。シート肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ③シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通過していること。シート腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ④シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
- ⑤中央席側の腰ベルトパスにシート肩ベルトとシート腰ベルトが通っていること。ドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトが通っていること。
- ⑥シートバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）場合、腰ベルトパスにシートバックルが干渉して本製品が安全に機能しません。そのような座席では使用しないこと。

## 10

お子さまの年齢が上がると、ご自身でシートバックルに手を触れて解除してしまう危険性が高まります。

絶対に走行中にバックルを外さないよう、常にお子さまに厳しく言い聞かせ、シートベルトを正しく装着した状態でご使用ください。

### 警告

#### 正しい状態を維持すること

お子さまが、走行中にシートバックルに触れて解除したり、シートベルトから抜け出そうとしたりする危険があります。お子さまには、「バックルに触れないこと」、「シートベルトを正しく装着すること」を繰り返し注意するようにしてください。また、本製品の使用中は、シートベルトが緩んだり外れたりしていないか、適宜、安全確認を行うようにしてください。

#### ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろすたびに、肩ベルトガイド（ヘッドサポート）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

## 11

お子さまを降ろす際はシートベルトのバックルを外す必要があります。ISOFIX 固定をしていない場合は、本製品が座席に固定されていません。車内の安全のため必ずシートベルトで固定するか、車外に出してトランクに入れるなどしてください。

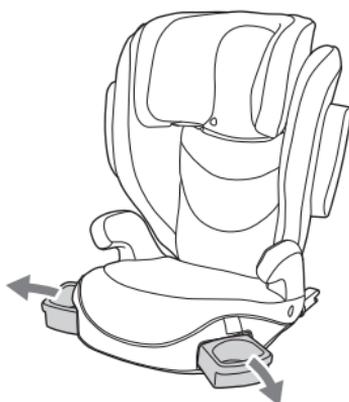


## カップホルダー

ベース先端左右には、引き出して使用するカップホルダーが内蔵されています。

使用しない場合は、押し込んで収納しておいてください。

特に、ドア側のカップホルダーを使用する場合は、ドアの開閉時の衝撃で内容物がこぼれるおそれがありますのでご注意ください。



### 警告

#### 熱い液体が入った容器などは入れないこと

お子さまがヤケドを負うおそれがあります。カップホルダーにはお子さまがヤケドするような熱い飲み物などの液体の入った容器(カップなど)を入れしないでください。

### 注意

#### 内容物に注意すること

カップホルダーは、飲み物などの容器を一時的に差し込むためのものです。フタがしっかりと閉まっていない容器を入れると、走行中の揺れやお子さまの動きにより、中身がこぼれたり、あふれたりすることがありますので、あらかじめご注意ください。

破損の原因となりますので、サイズの合わないカップやペットボトルを無理に差し込まないでください。

## お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためベース、バックレスト、ヘッドサポートのカバーを取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

## ⚠危険

### カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、クッション材（本製品に取り付けられている白色のEPP/EPSフォーム（発泡スチロール等の衝撃吸収材）も安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

## ⚠警告

### 取り外したカバー類、カバー類を取り外した本製品はお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れ等のためにカバー類を取り外したら、取り付け直すまでの間は、それぞれお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

## ⚠注意

### カバーの取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかけた感じがする場合、無理をせず、引っかけた場所がないかを確認するようにしてください。

## 01

あらかじめ、ベースとバックレストの固定を解除します。バックレストを片手で支えながら、後方へ押し倒すようにすると固定が解除されます。



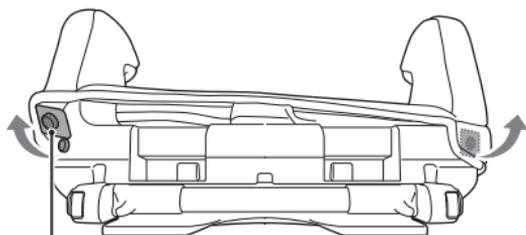
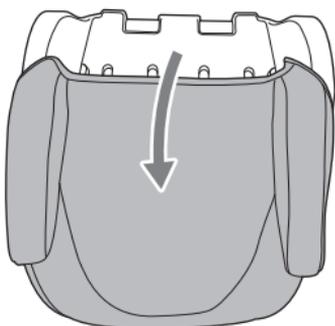
### 👉ポイント!

ヘッドサポートのカバーのみを取り外す場合には、ベースとバックレストの固定を解除する必要はありません。また、バックレストのカバーを取り外す場合は、サイドインパクトプロテクションを取り外しておくことで作業がしやすくなります。

## ベースのカバーの取り外し

### 01

ベース後部に留めてあるカバーの左右のスナップボタンを外します。



スナップボタン

### 02

カバーを前方に抜き取ります。

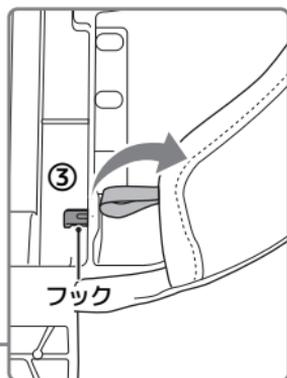
### 03

取り付けは逆の手順で行います。

## バックレストのカバーの取り外し

### 01

- ①ヘッドサポートを高い位置に調節し、
- ②バックレスト背面上部左右のスナップボタンを外して、
- ③下部左右のフックに掛けられているゴムバンドを外します。



#### ポイント!

ヘッドサポートが最も低い位置に調節されていると、下部左右のゴムバンドが取り外しできません。

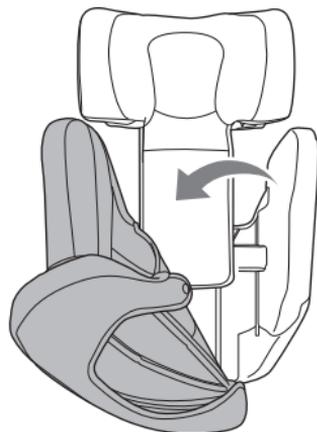
参照 P30-31 ▶ヘッドサポートの調節

## 02

カバーを取り外します。

## 03

取り付けは逆の手順で行います。



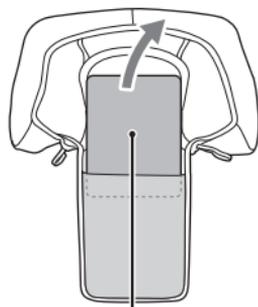
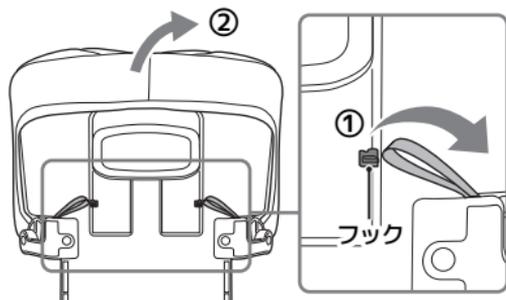
## ヘッドサポートのカバーの取り外し

### 01

ヘッドサポート裏側左右のフックから、

①ゴムバンドを外し、

②ヘッドサポートのカバーを取り外します。



プラスチックプレート

### 02

カバー裏側の下部（フラップ）の袋状になった部分から、プラスチックの板（プラスチックプレート）を引き出して取り外します。

### ⚠注意

お手入れ時にはプラスチックプレートを取り外してください。プラスチックプレートが変形するおそれがありますので、差し込んだまま洗濯しないでください。

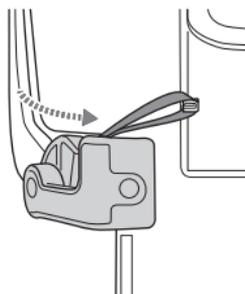
### 👉ポイント!

ヘッドサポートのカバーを取り付ける際は、プラスチックプレートをあらかじめ差し込んでおいてください。

ヘッドサポートのカバーを洗濯した際には、カバーを良く乾かしてからプラスチックプレートを差し込んで、カバーをヘッドサポートに取り付けてください。

### 03

取り付けは逆の手順で行います。取り付けの際、ヘッドサポートのカバーのゴムバンドは、右図のように、肩ベルトガイド上部の隙間に通して、フックに掛けるようにしてください。



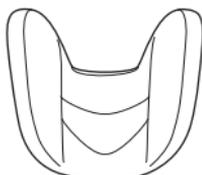
#### ⚠注意

取り付けの際に、フラップにご注意ください  
ヘッドサポートのカバーを取り付ける際には、フラップがバックレストのカバーの内側になるようにしてください。

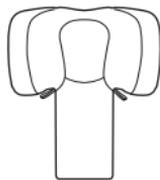
参照 P26 ▶本体の組み立て▶ 03

## カバーのお手入れ

取り外した、ベース、ヘッドサポート、バックレストのカバーは、以下の表示に従ってお手入れしてください。



バックレスト



ヘッドサポート



ベース

#### ⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でカバーを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

👉ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

## 01

以下を参照してお手入れしてください。カバーは、よく乾かしてから取り付けしてください。

① **液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）**

洗濯機の容量や機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合は、30℃以下の水温で手洗いしてください。

② **漂白剤は使用しないでください**

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ **タンブラー乾燥をしないでください**

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

④ **つり干しを推奨します**

型崩れしないよう注意して、しっかりと開いて干してください。

⑤ **アイロンは使用しないでください**

破損、縮み、溶けの原因となります。

⑥ **ドライクリーニングしないでください**

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングはお避けください。

### 注意

**原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください**

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

**きつく絞らないでください**

型崩れ、変形の原因となります。

## その他の部位のお手入れ

### ⚠危険

以下のものを絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、原液のままの中性洗剤、ガソリン、その他の有機溶剤を絶対に使用しないでください。これらのものが付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

## 樹脂部分・衝撃吸収材

### 01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

### ⚠注意

洗剤類、ウエットタオルは使用しないでください

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

## 金属部分

### 01

金属部分の汚れは、お湯または水につけてきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

### ⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

## 除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

---

除菌、抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無に付きご確認ください。

### 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車外に出してください。

---

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

---

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

### 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。







# 保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイ アイ-トリロFX		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前	電話番号	電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
  - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
  - ・お客様のご購入を証明することができない場合
  - ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
  - ・ 部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損、汚損の場合
  - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損、汚損のない場合
  - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
  - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
  - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
  - ・ 中古品の場合
  - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
  - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

**本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。**

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

### **(本製品に関するお問い合わせ先)**

株式会社カトーシジ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

[www.katoji.co.jp](http://www.katoji.co.jp)

### **(Joie日本総代理店)**

株式会社カトーシジ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋59-2

レシート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,  
Venture Point, Towers Business Park  
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

**Joie™**

bring the kids™  
Share the joy at [joiebaby.com](http://joiebaby.com)

2511\_01